

NEWS RELEASE

ジュリーク・ジャパン、再生コットンを使用したエコバッグの有償提供開始 紙のショッピングバッグ無償提供は2月29日で終了

ポーラ・オルビスグループのジュリーク・ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、社長:由井菌誠)は、2020年2月29日をもって紙のショッピングバッグの無償提供を終了し、環境に配慮した素材である再生コットンを用いた繰り返し使用可能なエコバッグの有償提供を開始します。紙の製造には多様な化学物質、膨大なエネルギー、そして大量の水を使用しており、製造過程で排出されるCO2をはじめとする大気汚染物質による環境負担が懸念されています。紙の使用を極力削減し、地球環境に負担をかけない行動の一つとして、今回このような取り組みをスタートします。また、ギフト包装等においてはプラスチックの使用を削減していくことも目指しています。



エブリデイ マイバッグ (M)



エブリデイ マイバッグ (L)



エブリデイ ポーチ フォーギフト

Jurlique

実施内容

- 紙のショッピングバッグの無償提供を2020年2月29日に終了
- 2020年3月1日より再生コットン使用のエコバッグ“エブリデイ マイバッグ”の有償提供を開始
Mサイズ(H32×W26×D6cm)税込み275円/枚
Lサイズ(H28×W43×D12cm)税込み418円/枚
- 2020年1月25日より、プラスチックを一部使用したギフトボックス(有償)から、再生コットンを使用した“エブリデイ ポーチ フォーギフト”(H24×W18cm)275円/枚、または“エブリデイ マイバッグ”に順次切り替え

【実施店舗】

全国の「ジュリーク」コンセプトショップおよび直営店

ジュリークにおけるSDGs(持続可能な開発目標)の取り組み

オーガニックやエシカルという概念がまだ広く知られていなかった1985年の創業当時から、ジュリークは地球環境への負荷を軽減する取り組みを継続的に行ってきました。「バイオダイナミック無農薬有機農法を用い、原料となる植物を自ら栽培」「雨水の再利用を用いた節水」「自社農園や工場からのごみは全て再利用、リサイクル、またはエネルギーに転換」など、多岐に渡る取り組みを実践しています。これからもオーガニックコスメのパイオニアとして、自然と環境、女性が輝く未来につながるような活動に取り組んでいきます。

ジュリークについて

ジュリークは、世界で最も美しい空気と肥沃な大地が広がると言われているオーストラリアのアデレードで1985年に誕生しました。寒暖差の激しい過酷な気候を持つこの大地に、唯一無二の広大なオーガニック認証自社農園を所有し、土づくりから、植物の栽培、製造から品質管理まで一貫して行い「自然を贅沢に極めるこだわりの化粧品」を創り続けています。現在、豪州・免税店・中国・香港を中心に19の国と地域にて展開しています。

<https://jurlique-japan.com/>

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp